

# AirMac カード 取り付け手順

この手順に従い、慎重に作業を行ってください。手順を誤るとコンピュータが故障する危険性があります。ご自分で行った作業が原因で発生した故障に対して、製品保証は適用されません。

**【警告】**コンピュータ内部のパーツなどには角のとがった部分や鋭利な部分があります。作業中は、怪我をしないように十分注意してください。

AirMac カード取り付けの基本的なステップ：

- コンピュータの電源を切る
- 接続されているケーブルとバッテリを取り外す
- コンピュータからボトムケースを取り外す
- 必要に応じて AirMac カードを取り外す
- 新しい AirMac カードを取り付ける
- ボトムケースをコンピュータに取り付ける
- バッテリと外したケーブルを取り付ける

**【参考】**QuickTime ムービーで手順を確認することができます。

<http://www.apple.co.jp/support/cip/index.html>

## 必要なツール

- プラスドライバ
- PowerBook 本体より大きく柔らかいタオル、または布

## 静電気放電(ESD)

自然現象である静電気は、人間が歩き回ると摩擦により人体に帶電します。ある物に触れると、パチパチと感じる静電気が起こり、火花を出すこともあります。ESD は、コンピュータ内部の部品の故障の原因となります。この手順を実施している最中は、静電気放電を起こさないよう、不要に歩き回らずに注意深く作業を行ってください。

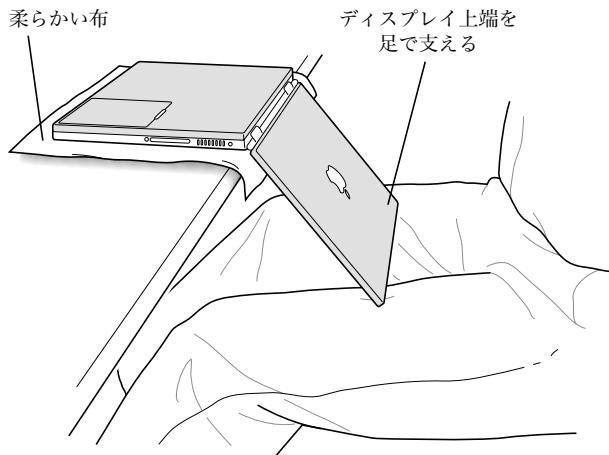
## ボトムケースを取り外す

1. 平らできれいな台の上へコンピュータを置きます。
2. コンピュータのシステムを終了します。さらに、コンピュータの電源アダプタ、電話コード、およびその他のケーブルを取り外します。

**【警告】** コンピュータ内部の部品を破損しないために、作業を行う前に必ず電源を切断します。

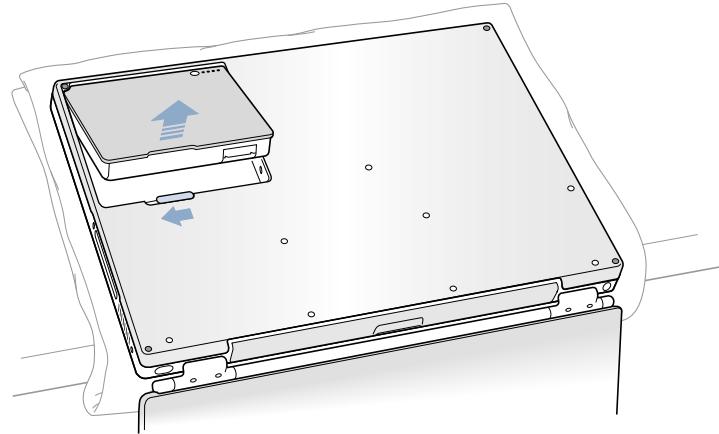
**【警告】** PowerBook 内部の部品は熱くなっていることがあります。直前まで使っていた場合、電源を切ってから 30 分ほど放置し、内部の部品が冷えてから作業を続けます。

3. 柔らかいタオル、または布を図のように作業台の上に置きます。ボトムケースを外すために PowerBook を図のように裏返して作業する際に、このタオル、または布がキーボード、ディスプレイ部分を保護します。図のように PowerBook をテーブルの端に引っかけるように置いた時に、タオル、または布が PowerBook より十分に大きいことがポイントです。
4. ディスプレイを 90° 以上開いた状態で、PowerBook を図のようにテーブルに置きます。ディスプレイがテーブルの端から下につり下がった状態で、滑り落ちないように足などでディスプレイを支えるようにします。



5. バッテリ取り外し用の留め具をずらしてバッテリを取り外します。留め具は手を放すと自動的に右側へ戻ります。

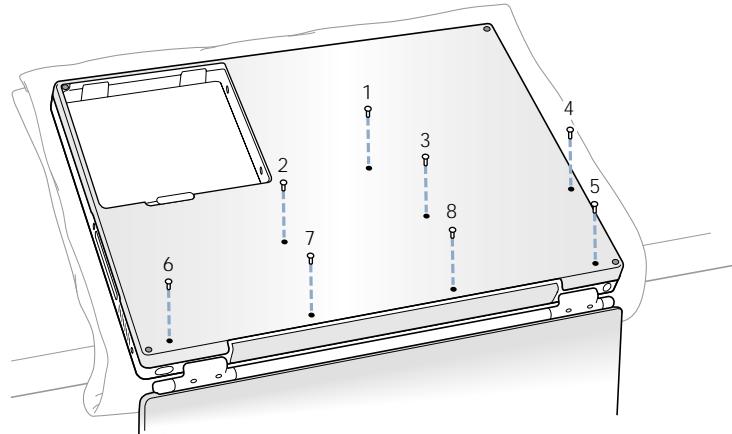
AirMac カード取り付け作業中に、誤って電源が入ってしまうことのないようにバッテリを取り外します。



6. プラスドライバーを使って、PowerBook のボトムケースを固定している 8 本のねじを取り外します。

**【重要】** ケースに傷を付けたりしないようにするには、ドライバを回す際にネジ山をつぶす（ネジの上をドライバが空転して、プラスのくぼみを削って角をなくすこと）ようなことがないように注意してください。ネジの大きさに合うドライバを使うことが大切です。

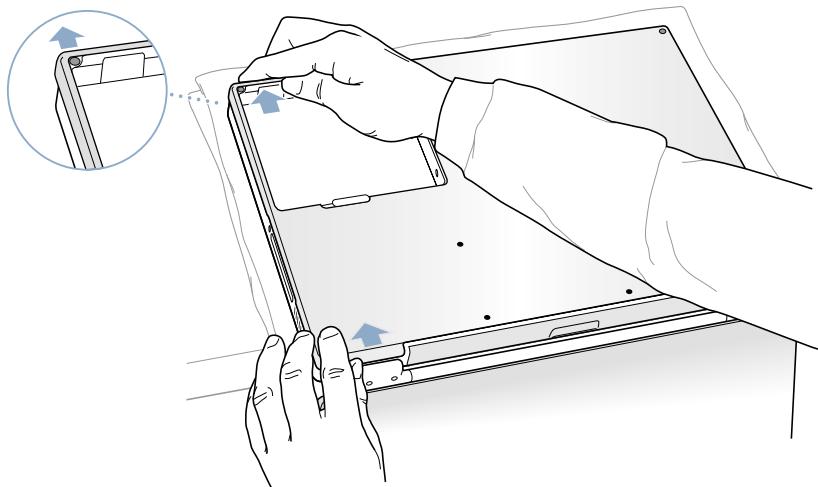
**【重要】** ドライバの正しい使い方は、回転方向（ゆるめる／しめる）に回すだけではなく、下に押しつけながら回転させます。こうすることによって、ネジ山がつぶれにくくなります。



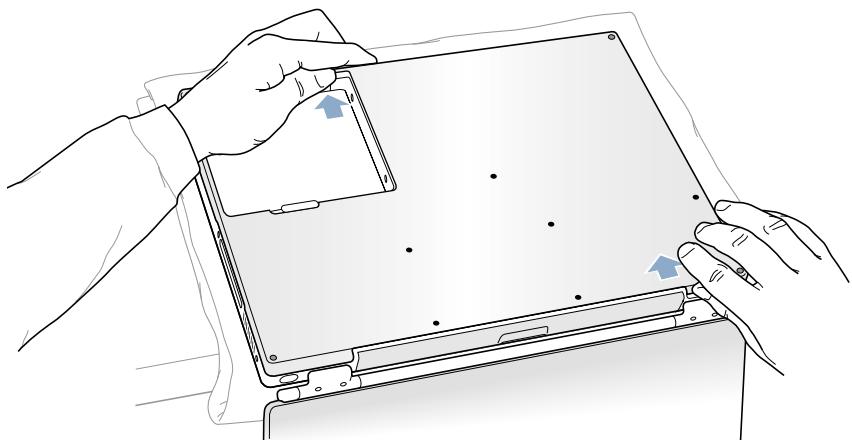
7. ボトムケースを取り外すには、左右両サイドを外す必要があります。次に、慎重に前方へずらしてDVD ドライブスロット部分のつめを外します。

**【重要】** ボトムケースのゴム足は押さないように注意してください。

ボトムケース左側：下図のように、ボトムケース左側のディスプレイと本体部分を接続している部分と、ボトムケース端のバッテリ収容部の内側を、ボトムケース左側が軽く浮いて外れるまで装置前方（向こう側）、やや上方向へ押します。

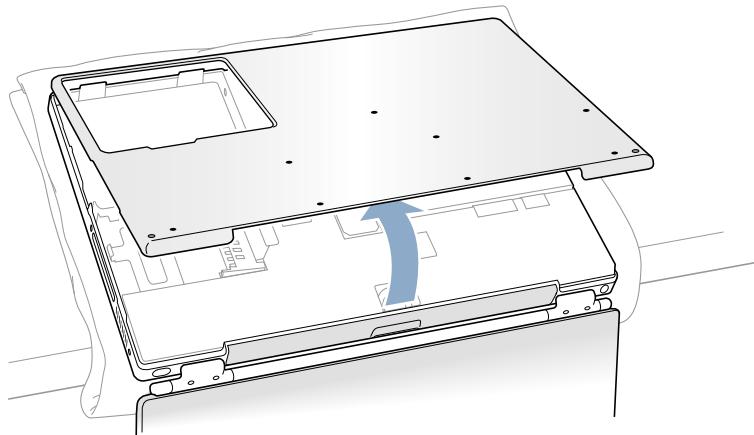


ボトムケース右側：ボトムケース左側と同じように、ボトムケース右側のディスプレイと本体部分を接続している部分と、ボトムケース端のバッテリ収容部の中央よりの内側を、ボトムケース右側が軽く浮いて外れるまで装置前方（向こう側）、やや上方向へ押します。



8. 左右両サイドが外れたら、図のようにボトムケースを手前側から回転させるように持ち上げ、装置前面の端にあるDVD ドライブスロット近くのつめが外れたら、ボトムケースを完全に取り外せます。

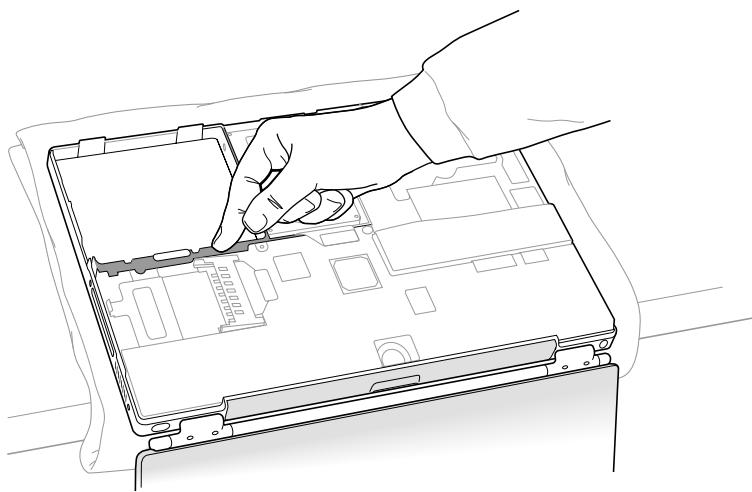
**【重要】** ボトムケースを持ち上げる際に、引っかかるような抵抗を感じる場合は無理に力を掛けないようにしてください。完全に外れていない部分があるかも知れませんので、ステップ7（前ページ）へ戻りボトムケースの取り外しをやり直してみてください。



## AirMac カードの取り付け

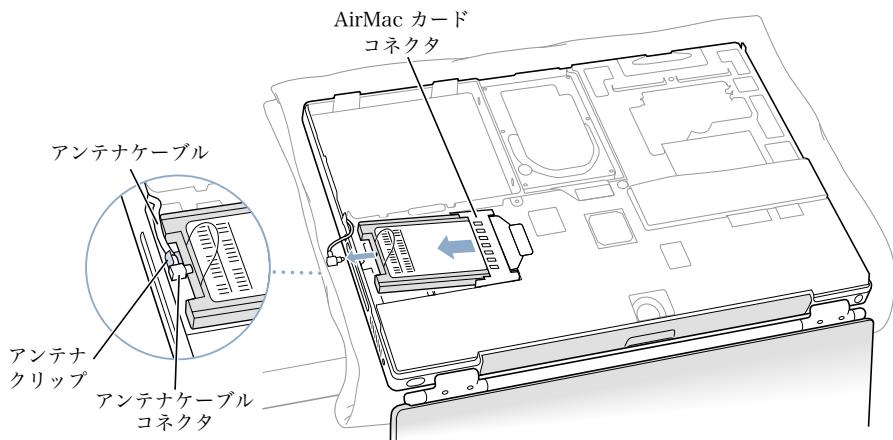
1. 静電気を除去するため、コンピュータ内部の金属部分に触れます。

**【重要】** コンピュータ内部の部品に触れるときや、内部に部品を取り付けるときは、必ず事前にアクセスカバーの金属部分に触れて、静電気を除去してください。また、静電気の発生を防ぐため、PCI 拡張カードやメモリ、内蔵型の記憶デバイス、内蔵電池の取り付けを終えて、カバーを閉じるまでは、部屋の中を歩き回らないでください。



- AirMac カードを取り外します（取り付けてない場合はステップ3に飛びます）。アンテナクリップを引いてアンテナコネクタを取り外し、カードを少しだけ持ち上げてカードコネクタから引き抜きます。

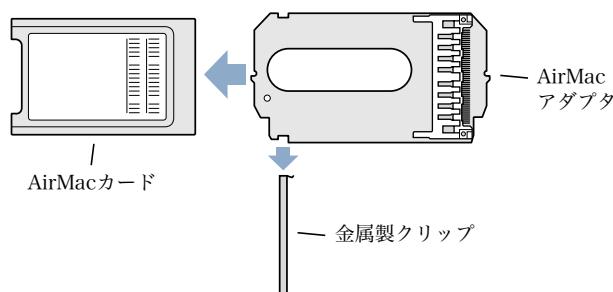
片方の手で AirMac カードをしっかりとつかみ、もう一方の手でアンテナケーブル・コネクタを持ちます。アンテナケーブルを引っ張らないように注意しながら、コネクタを AirMac カードからまっすぐに引き抜きます。



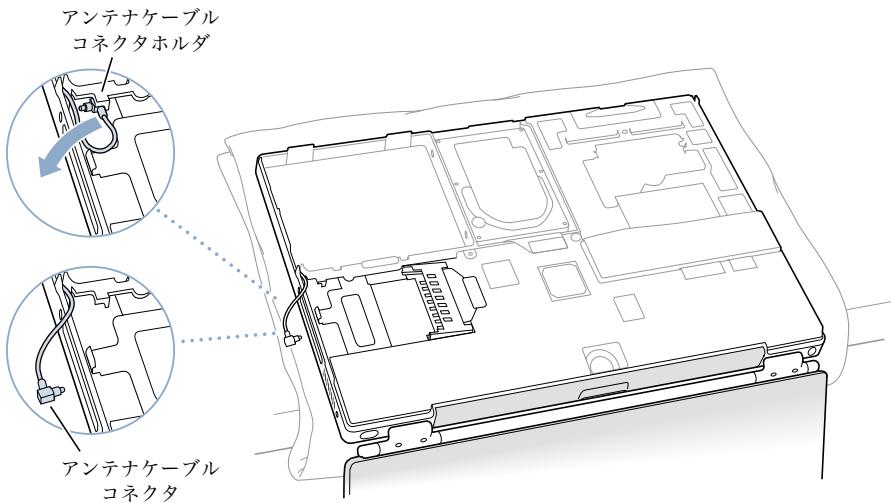
**【重要】** AriMac カードの取り付けをすぐに行わない場合は、アンテナケーブルコネクタをホルダ（ステップ4 参照）に収容しておきます。そして、アンテナケーブルを少し持ち上げてコンピュータケースのエッジにあたらないようにします。こうして PC カードスロットと干渉しないようにし、ボトムケース取り付けの際にケーブルが挟まれないようにします。

また、AirMac カードコネクタの先端が少し持ち上がっていたら、平らになるように押しておきます。こうすることで、ボトムケースが正しく取り付けられるようにします。

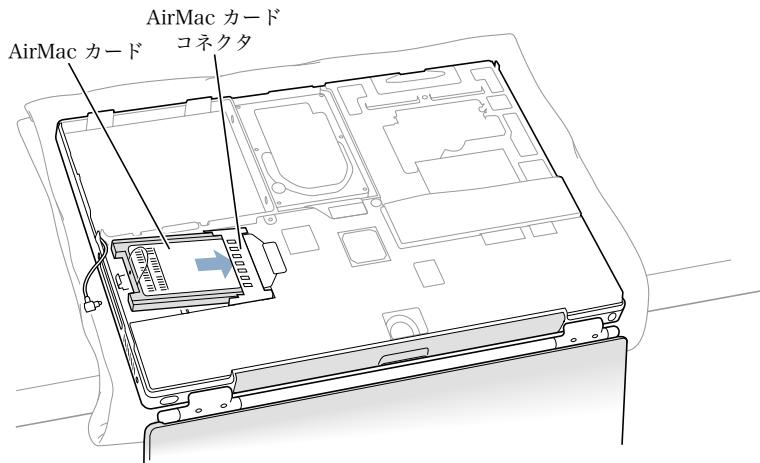
- AirMac カードに AirMac アダプタが付いている場合は、金属性のクリップを取り外して、アダプタから AirMac カードを引き抜きます。（アダプタと金属製のクリップは、PowerBook では使用しません。）



4. AirMac カードが初めて取り付けられる場合は、AirMac アンテナをホルダから取り外します。

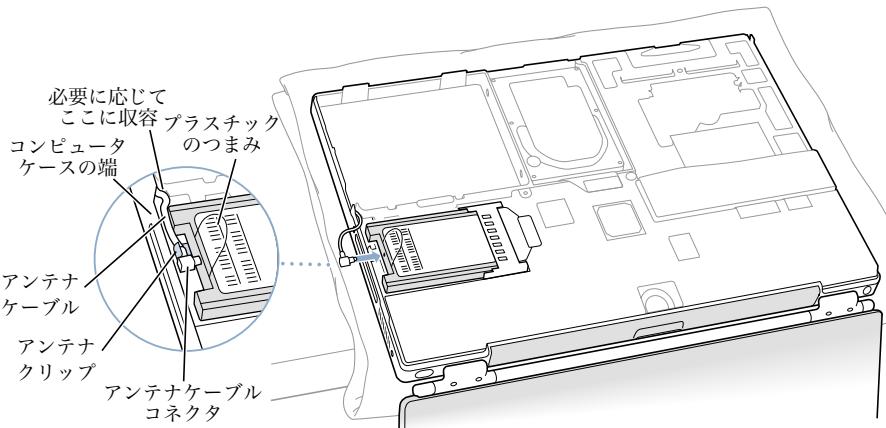


5. AirMac カードコネクタの先端を少し持ち上げ、上向きにします。  
AirMac カードを取り外した直後であれば、コネクタは持ち上がっているはずです。
6. AirMac カードを、AirMac ID 番号とバーコードが見える状態で、コネクタに差し込みます。カードがコネクタにしっかりと固定されるよう、カードを最後まで差し込んでください。



7. AirMac カードをアンテナケーブルの端に取り付けます。カードに差し込む前に、アンテナケーブルの先端にあるコネクタがまっすぐになっていることを確かめてください。
8. AirMac カードを押して、所定の位置に収容します。アンテナケーブルの先端が、下の図のように小さなクリップで固定されていることを確かめてください。

**【重要】** アンテナケーブルは AirMac カードとコンピュータケースの間にはわせます。ケーブルの長さに余裕がある場合は、組み立て時にケーブルが挟まれないように、図のように収容（先の細いペンチなどが便利です）します。AirMac カードの下にある PC カードエリアにケーブルが入り込まないように注意してください。



9. AirMac カードの上にあるプラスチックのつまみを折りたたみます。

**【参考】** プラスチックのつまみは、カードの上になつていなければなりません。プラスチックのつまみが折りたたまれていないと、ケースの下部をコンピュータにしっかりと取り付けることができません。

## コンピュータを組み立てる

- ボトムケースを取り付けるには、まずケースの左右の端にある切り欠きの位置を合わせます。バッテリ収容部にも位置合わせのつめがあります。次にボトムケースを押しながら手前側（装置後方）へずらすようにして正しい位置に取り付けます。

ボトムケースが平らで、バッテリ収容部の内側、ボトムケースの回りが正確にはまっていることを確認します。図中のタブはボトムケースの内側にあり、正しくはまっていないとこの部分が浮き上がります。

ケースの回りにズレがなければ、正しい位置に収まっています。

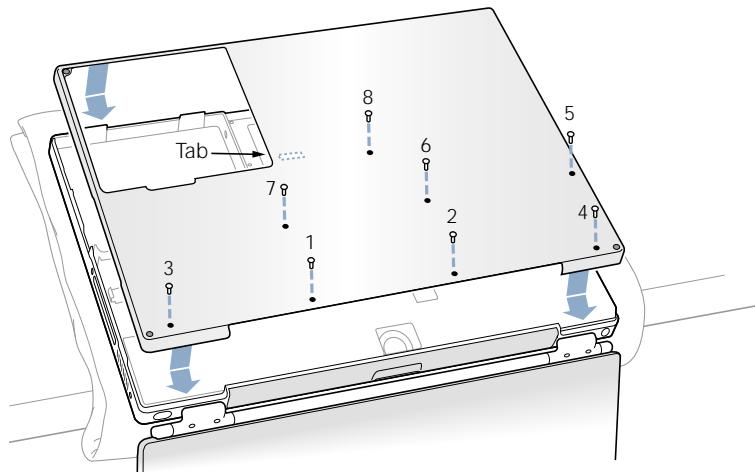
**【参考】** バッテリ収容部のタブのあるボトムケースの内側や、ケースの前後部の端に力を掛けるとケースの位置調整がうまくできます。

- ボトムケースの8ヶのネジ用の穴と本体部のネジ穴の位置があつていることを確認します。ディスプレイ部を2ページのように支えます。
- 8本のネジを図の番号順に取り付けます。故障の原因となりますから、ネジは必要以上に強くしめないでください。

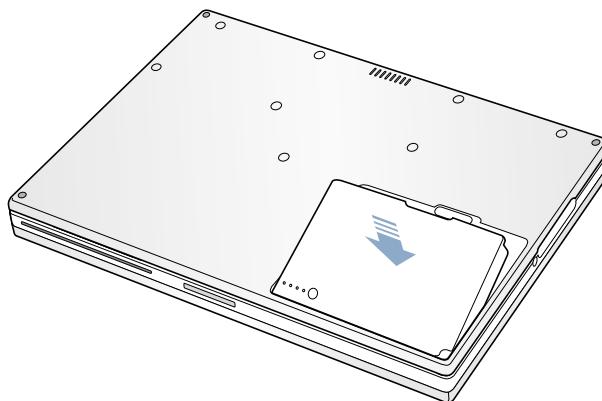
**【参考】** ネジは軽く、そしてまっすぐにしめられます。少しでも違和感がある場合は、ケースの位置あわせをやり直して下さい。

**【重要】** ケースに傷を付けたりしないようにするには、ドライバを回す際にネジ山をつぶす（ネジの上をドライバが空転して、プラスのくぼみを削ったりすること）ようなことがないように注意してください。ネジの大きさに合うドライバを使ってください。

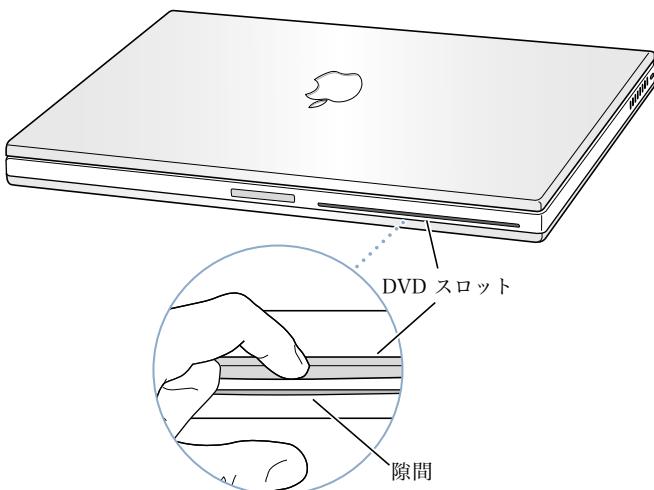
**【重要】** ドライバの正しい使い方は、回転方向（ゆるめる／しめる）に回すだけではなく、下に押しつけながら回転させます。こうすることによって、ネジ山がつぶれにくくなります。



4. バッテリを取り付けます。



5. コンピュータを正しく置き直し、DVD スロットが手前を向くようにします。DVD スロットの前端とケースが平らな位置にある事を確認します。ケースがわずかにゆがんで隙間があるようなら、ケースが所定の位置に納まり DVD スロットと平らになるように、DVD スロットの下の端を指で軽くひつかくように引いてみてください。



6. 作業前に取り付けられていた電源アダプタやその他のケーブルをすべて接続し直してから、コンピュータの電源を入れます。

**【警告】** コンピュータの内部及び見える部分の部品をすべて所定の位置に取り付け、正常な状態にするまでは絶対にコンピュータの電源を入れないでください。コンピュータのカバーが開いているときや、一部の部品が取り外されている状態で電源を入れると、コンピュータの故障や、怪我の原因となります。

## AirMac カードの梱包

取り外した AirMac カードは、交換用の AirMac カードが梱包されていた静電気防止用の袋へ入れ、送られてきた箱に梱包して送り返します。

アップルコンピュータ株式会社

東京都新宿区西新宿3丁目20番2号  
東京オペラシティタワー ☎163-1480  
[www.apple.co.jp](http://www.apple.co.jp)

© 2001 Apple Computer, Inc. All rights reserved. Apple、Apple ロゴ、Mac、Macintosh は、米国 Apple Computer, Inc. の登録商標です。Power Mac は、米国 Apple Computer, Inc. の商標です。著作権法に基づき、Apple の許可なく本書類の全体、もしくは一部を複写することを禁止します。